

分野	ICT(情報通信技術)				
<p>現状と課題(A欄)</p>	<p>「今後のICTのあり方」に進んでいくための基本的な方向性など(C欄)</p>				
			<p>(現基本構想の進捗検証・評価)</p>	<p>(基本的な取組の方向性)</p>	<p>(具体的な手段・方法、取組など)</p>
<p>○区の計画ではICTやデジタル化自体が目的化している傾向がある。計画にあるが実現していないのは、本当に必要とされていないからではないか。</p> <p>○ICTの課題を解決するための専門人材が不在となっている。</p> <p>○システムの開発や管理が所管部課ごとの縦割りでベンダーが異なっており、非効率となっている。</p>	<p>【デジタル化】</p> <p>○デジタル化自体を目的にするのではなく、区民サービスの一層の向上や業務の効率化など導入の目的を明確化してデジタル化を進める。</p> <p>○区が保有しているデータをデジタル化・オープン化し、区がパブリックデータの拠点となる。</p>	<p>【デジタル化】</p> <p>○業務の効率化、環境対策などを目的にペーパーレス化や分散している行政情報の統合を推進する。</p> <p>○区が保有しているデータをオンラインで公開し、民間事業者が自由にアクセス・活用できるようにする。</p>			
<p>(今後の社会環境や区民生活・意識の変化等の新たな視点)</p> <p>○政府によるデジタル化の推進、コロナ禍を契機とした社会の変化により、急速にデジタル社会への移行が進んでいる。</p> <p>○ICTを使いこなせない人がいること、ネットワーク環境のない人が不利にならないよう留意する必要がある。</p>	<p>○システムの導入に当たっては、ベンダーロックインによるシステム経費の高止まりを避けるための新たな方法を考える。</p> <p>○計画・実装・普及・チェックというサイクルを構築してICTの環境整備を図る。</p> <p>○ネットワーク環境整備は「基本的人権」であり、誰一人取り残さないという視点を持つ。</p>	<p>○システムの導入をベンダー任せにするのではなく、専門人材の登用やプロジェクトチームを設置して行うとともに、ユーザー目線でシステム設計をする。</p> <p>○職員のICTスキルを高める。</p> <p>○区民間のデジタルデバイドの解消策に留意する。</p> <p>○子どもや高齢者など全ての区民にネットワーク環境を整備する。</p>			
<p>今後のICTのあり方(B欄)</p>					
			<p>(今後のICTのあり方)</p> <p>○ICT活用の目的を明確に掲げた上で、行政のデジタル化を一層加速する。</p> <p>○区が区民や民間事業者とともに考え、手を携えながらICT活用を推進する。</p> <p>○誰一人取り残さないICT環境を整備するとともに、ユーザー側の多様性に配慮した運用を行う。</p>	<p>【民間事業者等との連携・人材確保】</p> <p>○ICTの課題を解決するため、民間との連携、専門人材の登用、区民との協働を行う。</p> <p>○専門人材の登用に加え、ICTに習熟した職員を活用する。</p>	<p>【民間事業者等との連携・人材確保】</p> <p>○民間事業者との大胆なコラボレーションを実施する。</p> <p>○外部の専門人材は複数登用し、役割分担してチームで課題解決に当たらせる。</p> <p>○行政と区民のオンラインを含めた対話の場を積極的に確保し、意見提出の機会を増やす。</p> <p>○ICTに詳しい職員を評価し、活躍できる仕組みづくりを行う。</p>
			<p>(今後のICTのあり方を設定した考え方など)</p> <p>○国におけるデジタル庁新設や押印・対面・書面原則の撤廃等の動き、「新しい生活様式」など、行政のデジタル化の推進が急速に求められている。</p> <p>○一方で、行政だけではICT人材の確保など高度化するICTをとり巻く諸課題の解決が困難であることから、外部の専門人材の登用など民間事業者等との連携が不可欠となっている。</p>		